号外

Design

～ 換 気 を 徹 底 し ま し ょ う ～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

Ｄｅｓｉｇｎ号外７９号です。認定看護師セミナー、認知症カフェの報告などを掲載しています。

（地域医療連携室 室長 南出　弦）

令和５年度第１回 認定看護師セミナーが開催されました

～ ご参加くださった皆様、ありがとうございました ～

７月９日（日）、オンラインで当院の認定看護師主催による認定看護師セミナーが開催されました。令和５年度第１回目の今回は、松本認知症看護認定看護師と岡上集中ケア認定看護師が演者として講演させて頂きました。当院の看護師５０数名の他、地域の皆様からは８名ご参加くださいました。ありがとうございました。

松本認知症看護認定看護師の「見方を変えよう！！認知症高齢者のとらえ方」と題した講演では、表出されている言葉の先にある本人の欲求を推測して対応することが重要であること、日々の患者の様子やこれまでの生活状況などの情報収集が重要であること、何もかもケアしてしまうのではなく残存能力を活かした援助をすることが重要であることなど説明がありました。

岡上集中ケア認定看護師の「急変の徴候をとらえる～ＲＲＳの起動基準を深堀り～」（ＲＲＳ：院内迅速対応システム）と題した講演では、心肺停止に至った６０～８０％の症例で、６～８時間前に何らかの徴候がみられるとの統計があることから、バイタルサイン等の変化にいち早く気付き、迅速なチーム対応につなげる必要性について説明がありました。

私にとって難しい内容もありましたが、自己研鑽に励む参加者の皆さんと共に、認知症対応、院内の迅速な対応システムについて学ぶことができ、明日からの相談業務に活かしたいと感じました。次回は１０月１日（日）の開催を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

（地域医療連携室 係長 中嶋　庸介）

“対面”での研修会を企画しています

～ 詳細が決まりましたらお知らせします ～

今秋、当院の職員と地域の皆様との顔の見える関係作り構築を目的とした研修会を、久し振りに“対面”で開催したいと思っています。コロナ禍以降、オンラインでの研修会の開催が定着しましたが、今回は対面での良さを活かした研修会にしたいと思っています。詳細は追ってご連絡させて頂きます。（南出）

回復期リハビリテーション病棟より

～ お気軽にお問合せ下さい ～

当院の回復期リハビリテーション病棟への入院ご希望の患者さんがおられましたらご紹介下さい。電話：０７７４－７３－１８１８（担当：堀井・中野）

地域医療連携室より

～ １年振りに参加させて頂きました ～

７月８日（土）、脳神経内科部長の大島先生と共に、山城町で開催された“こすもすカフェ”（主催：木津川市社会福祉協議会）に参加させて頂きました。会場は山城保健センターです。山城町でのカフェに参加させて頂くのは昨年の７月以来、１年振りです。昨年は天気がよく大変暑かったのですが、今年は数日前から雨の予報。しかし、当日は雨が降らず、まずまずの天候で、事前に申込された方々２０数名の方が参加されました。

今年も、昨年の同様、大島先生によるミニレクチャーでスタートしました。認知症ともの忘れの違いや、認知症の周辺症状や新薬（レカネマブ）に関することまで幅広く教えて頂きました。大変わかりやすく、熱心にメモを取っておられる方、大きく頷いている方が何人もおられました。大島先生によるミニレクチャーの後は、私から認知症疾患医療センターの説明や、もの忘れが気になった場合には、まずはかかりつけ医に相談して頂くようお伝えさせて頂きました。

その後、大島先生と共に医療相談をさせて頂きました。レビー小体型認知症の患者さんの奥様からは、「幻視があり（本人は）人影が見えると言うが、どのように対応したらよいか」というものでした。人影が見えても悪さするものではないことを伝えること、人影は見えないと否定しないこと、部屋を片付けること（部屋が散らかっているとモノが人影に見えることがあるため）、部屋を明るくすることが有効な対策であるとお伝えさせて頂きました。時間の制限があったため、十分な対応ができたのか不安が残るのですが、少しでもお役に立てていれば幸いです。

＊

当院が京都府より認知症疾患医療センターの指定を受けたのが、平成２６年３月。今年で９年になりました。地域包括ケア病棟の届け出をしたのも同じ年、平成２６年８月です。認知症疾患医療センターと地域包括ケア病棟“彩り”が今度も地域の皆様のお役に立てるよう、切磋琢磨しながら運営していきたいと思っています。引き続き、よろしくお願い致します。

（地域医療連携室　室長　南出　弦）